

2025年度

児童・少年の健全育成助成 生き生きシニア活動顕彰 助成・顕彰団体決定

今年度は全国で323団体・1億5,779万円の児童・少年の健全育成助成と
230団体・1,150万円の生き生きシニア活動顕彰を実施します。
財団設立からの累計(1979年～2025年)は、18,700団体・94億円になります。

和歌山県では、児童・少年の健全育成助成

和歌山フェニックスジュニアバレーボールクラブ はじめ 7 団体が
決定いたしました。

生き生きシニア活動顕彰 3団体 が決定いたしました。

1979年の助成開始から47年の累計は

和歌山県内 362団体 1億 5,930万円 となりました。

2025年7月

公益財団法人 日本生命財団

この件に関するお問い合わせ先

〒541-0042 大阪府中央区今橋3-1-7

日本生命財団 助成事業部

TEL : 06 (6204) 4014

FAX : 06 (6204) 0120

日本生命財団は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当たり、より継続的かつ普遍的な社会貢献を行うため1979年に設立された助成型財団です。

以来「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、児童・少年の健全な育成、高齢社会福祉、環境問題などの分野を中心に助成活動を行っております。

ホームページ <https://nihonseimei-zaidan.or.jp>

日本生命財団は、１９７９年の設立以来、児童・少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、活動に必要な物品を助成してまいりました。

また、元気で活力に満ちた高齢者が主体となって地域貢献活動を行う団体を顕彰しております。

目録贈呈式を次のとおり開催いたします。

日 時	7 月 1 1 日(金) 午後 1 時 3 0 分～
場 所	和歌山県民文化会館 6 階 特別会議室B
出席者	受 贈 者：10団体 和歌山県：共生社会推進部長 島本 由美 様 日本生命：和歌山支社長 加賀 伸正 ニッセイ財団：代表理事専務理事事務局長 水野 充彦

2025年度ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成(物品助成)の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、1979年7月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。

児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育んでいくことが必要です。

このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来47年継続して、全国1万5千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成(物品助成)は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

助成金額は、1団体30万円～60万円です。

助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためになくはない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

- ◆2025年度は、全国各地の323団体に総額1億5,779万円の助成を行います。
- ◆財団設立から47年の累計実績は、1万5千団体・92億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

＜2025年度助成323団体の内訳＞

「自然と親しむ活動」	41団体	野外活動、自然体験活動、自然観察、天体観測、自然・森林の保護活動、野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動
「異年齢・異世代交流活動」	158団体	異年齢集団の交流活動、地域に根ざしたスポーツ活動、芸術活動、郷土文化芸能の保存伝承活動
「子育て支援活動」	71団体	子育てサークル活動、子育て支援ネットワーク活動、地域に根ざした文庫、読み聞かせ、人形劇活動、児童少年の居場所づくり支援活動、子ども食堂、学習支援活動（フリースクールを除く）
「療育支援活動」	20団体	障がいのある子どもたちの療育支援活動、ノーマライゼーション推進活動
「フリースクール活動」	33団体	フリースクール運営活動 (不登校の小中学生・高校生を対象とした活動)

情報誌「F u - m i」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

2025年度ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されています。

日本生命財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに3,690団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2025年度は、全国各地の230団体に1,150万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、3,690団体・18,450万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2025年度顕彰230団体の内訳>

「児童・少年の健全育成活動」	36団体（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「障がい者支援活動」	14団体（手話・点訳・朗読ボランティア活動等）
「高齢者支援活動」	132団体（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「地域づくり活動」	48団体（環境美化・環境保護活動、ボランティアガイド活動等）

情報誌「F u - m i」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

＊当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以 上

2025年度 ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成 決定団体一覧

30 和歌山県

コード	団体名 活動の内容	助成内容	助成額 (千円)
30 01	和歌山フェニックスジュニアバレーボールクラブ II-2 地域に根ざしたスポーツ活動（武道を除く）を通しての児童の健全育成	バレーボール用具一式 和歌山市	350
30 02	和歌山砂山少年剣友会 II-3 武道（剣道・柔道等）を通しての児童の健全育成	剣道防具一式 和歌山市	350
30 03	内原バレーボールクラブ II-2 地域に根ざしたスポーツ活動（武道を除く）を通しての児童の健全育成	バレーボール用具一式 日高郡	450
30 04	サークル「もぐもぐ」 III-3 児童・少年の居場所づくり支援、子ども食堂、学習支援（フリースクールを除く）	冷蔵庫 伊都郡	400
30 05	特定非営利活動法人HappinessKidsLabo IV-1 障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進	ユニフォーム一式 和歌山市	450
30 06	社会福祉法人ささゆり福祉会 放課後等デイサービスポッポ IV-1 障がいのある子どもたちの療育支援・ノーマライゼーション推進	トランポリン一式 有田郡	350
30 07	任意団体つくるがっこうイホールラ舎 V-1 フリースクールの運営（不登校の小中学生・高校生を対象とした活動）	パソコン・タブレット・学習教材一式 橋本市	450

合計 助成件数 7 件 助成決定額合計 2800 千円

2025年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰 決定団体一覧

コード	団体名	活動内容	顕彰内容	顕彰額 (千円)

30 51	宮北地区社会福祉協議会		活動顕彰	50
Ⅲ-1	高齢者の居場所（サロン）づくり		和歌山市	
30 52	高松根上り会		活動顕彰	50
Ⅲ-1	高齢者の居場所（サロン）づくり		和歌山市	
30 53	松江地区社会福祉協議会		活動顕彰	50
Ⅲ-1	高齢者の居場所（サロン）づくり		和歌山市	

合計	3件	助成決定額合計	150千円
----	----	---------	-------